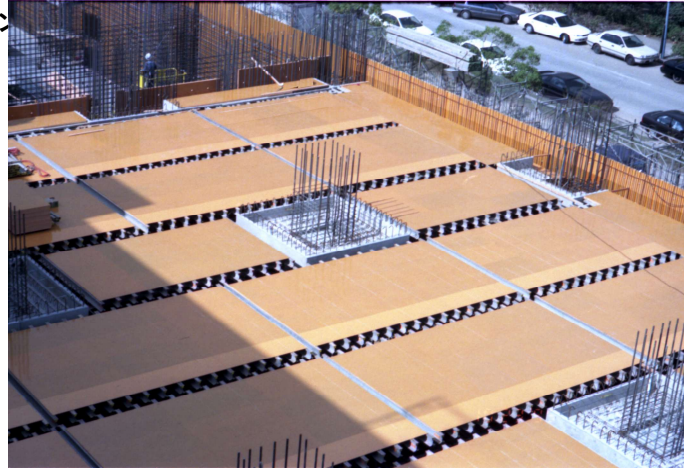


《合板・根太・大引・支保工を一体化した大型テーブル型枠です》

スラブ受け、梁下受けに適用。品質の安定したコンクリート構造を繰り返し生産できます！

大型倉庫・ショッピングセン



《時間・作業人数・コストが削減できます！》

大型テーブルで許容荷重も高く、転用・盛替が利くため、機材の運搬も少なく、施工スピードも倍になります。また、1人工あたりの型枠施工面積も在来工法と比べると、倍近くなっています。

種目	単位	フライングショアー工法	在来工法
運搬	比率	0.8~0.5	1
施工スピード	倍	2.0~2.5	1
型枠施工面積	m2/人工	25~35	5~15

コストの面でも、材料費に関しては在来工法よりもアップしてしまっていますが、移動・転用が簡単に行なえるので、転用回数が多くなるように計画することで在来工法より削減することができます

項目	フライングショアー工法	在来工法
材料費	40.0%	25.0%
労務費	17.5%	69.0%
機械費	3.5%	-
小運搬費	-	6.0%
合計	61.0%	100.0%

《軽量で移動・転用・盛替が容易にできます！》

◆フライングショアーはクレーンでの盛替が可能です◆

型枠と支保工の一体型テーブル枠なので、クレーンで吊上げての移動も可能です。型枠・支保工の一体化作業方式により作業員35m²/1人工、従来型の物よりも

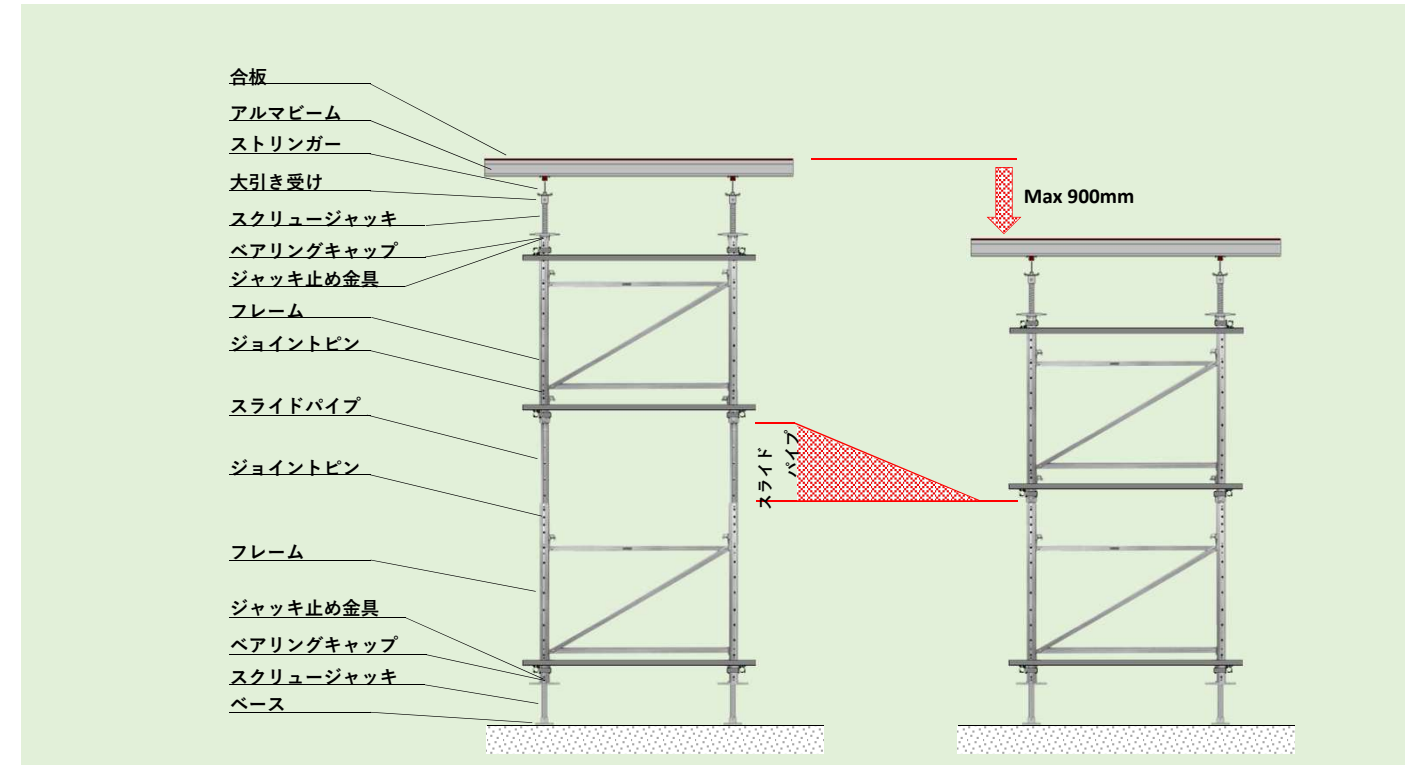
20~30%の工事量削減（労務費、運搬費）と2.2倍のスピードアップが可能！

◆大梁下の移動も楽々行なえます◆

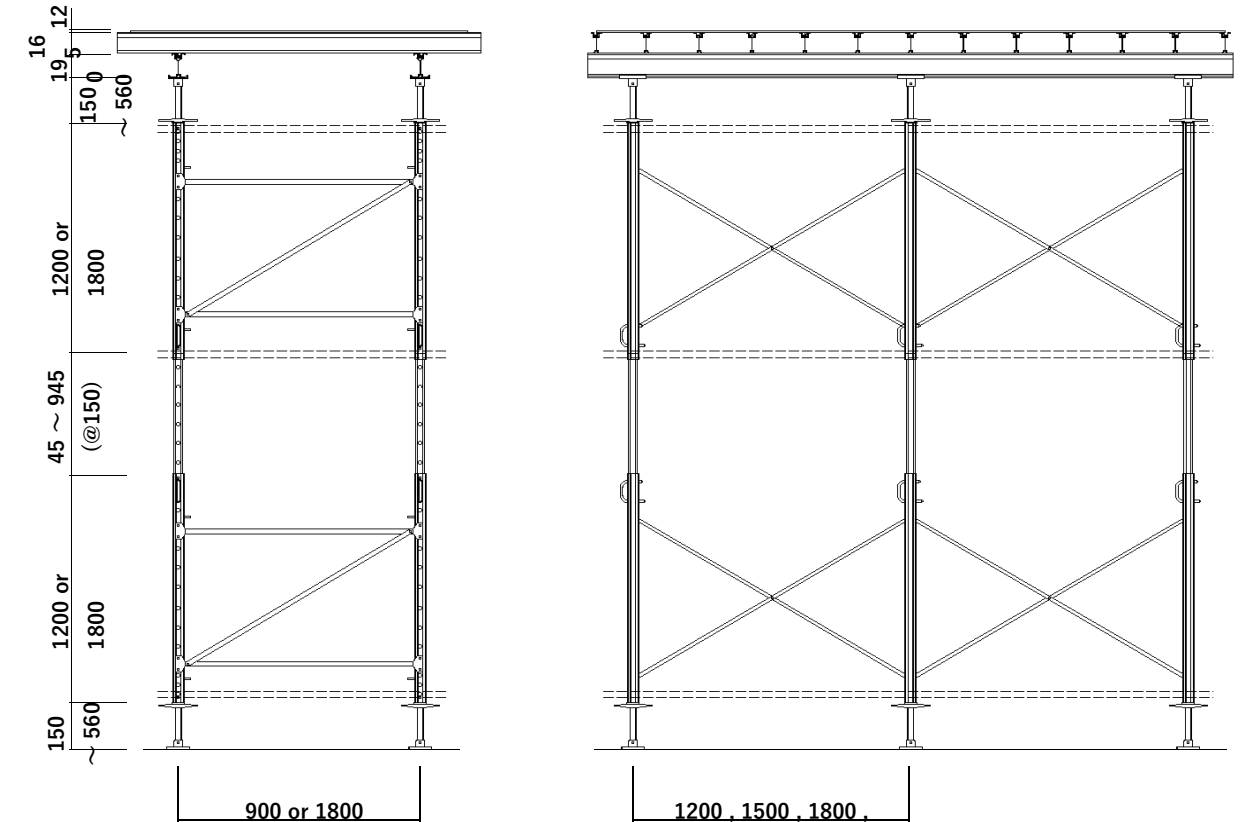
フライングショアーはフレーム使用の型枠、その中間にはスライドパイプを使用しています。そのスライドパイプの伸縮によって大梁下の移動もより簡単に行なえます。



●フライングショアー組立部材

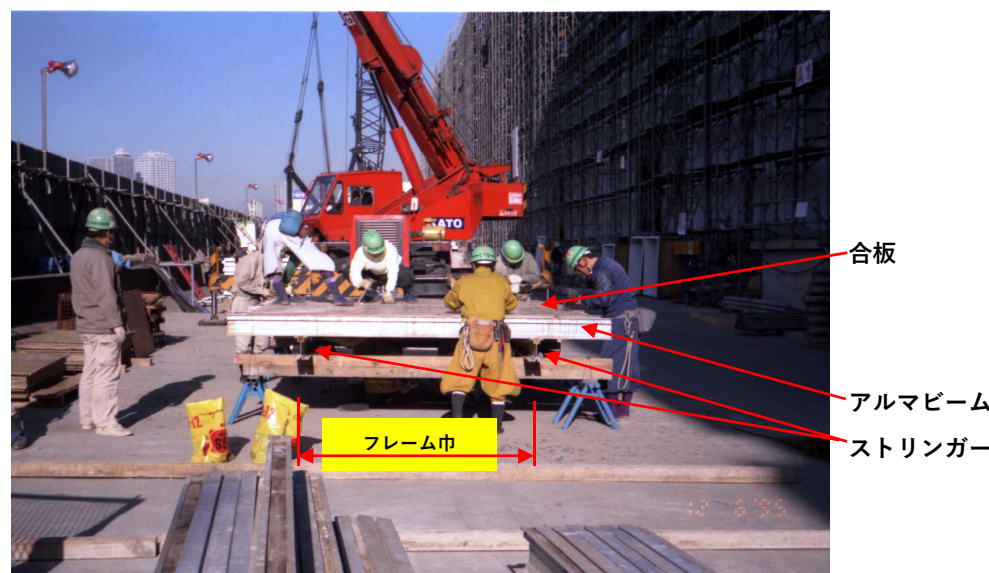


●フライングショアー組立寸法

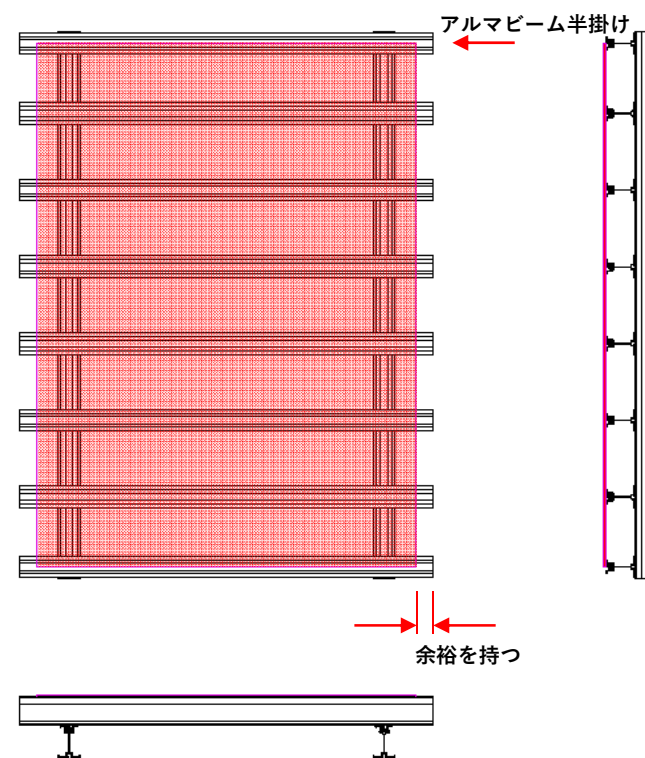


スライドパイプ上にフレームを2段組立てる場合には、フレームジョイントを使用して接続する。
フレームジョイントの高さは20mm
スクリュージャッキの高さ設定には下げ代を見込んで下さい。

① 型枠部組立



合板取付



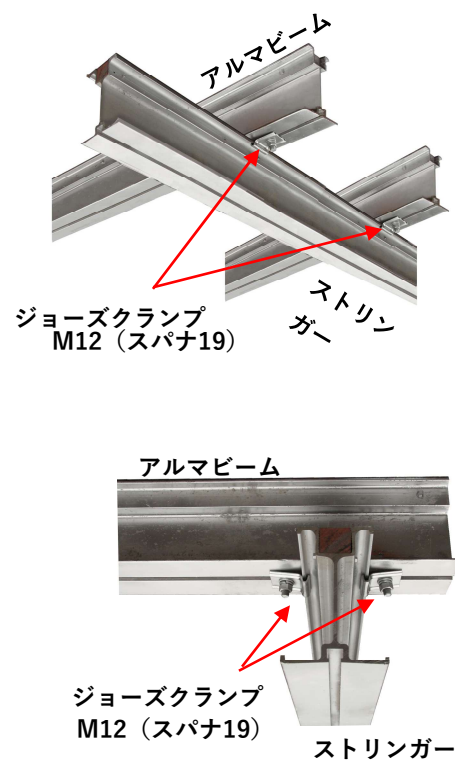
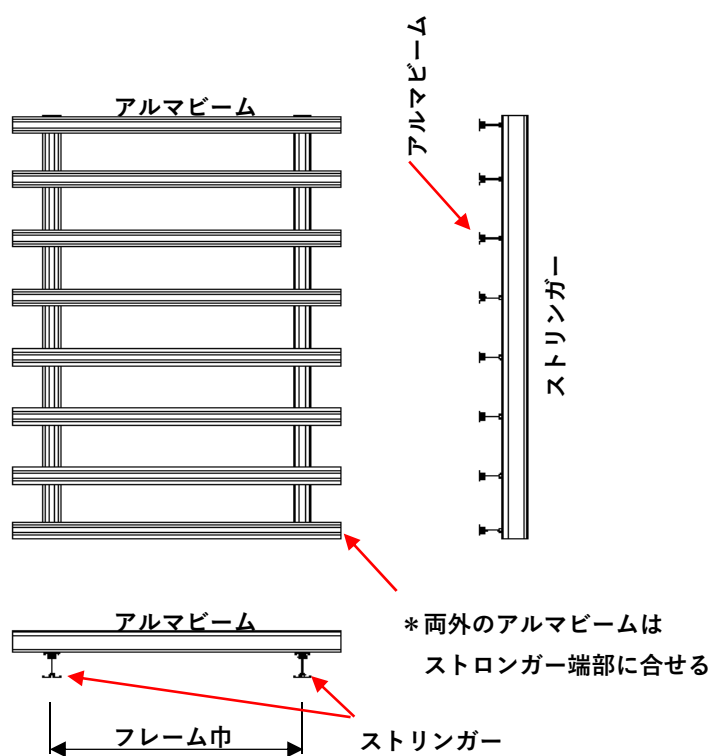
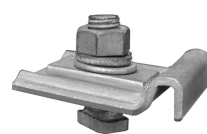
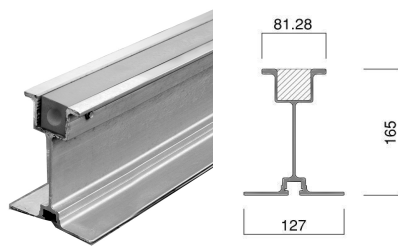
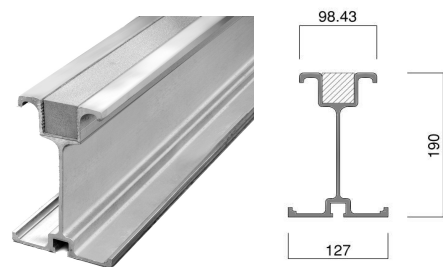
隣のユニットとの隙間は配置後に合板でふさぎます。
その為にユニット化する合板は、隙間塞ぎの合板を釘打ちするための余裕を周囲に取って下さい。

根太・大引きの組立て

大引き材：ストリンガー

根太材：アルマビーム

ジョーズクランプ
M12 (スパナ19)

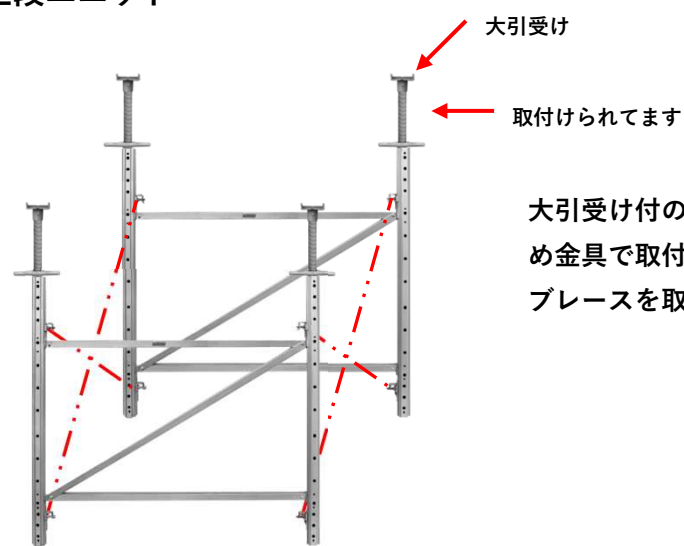


完成したユニットの積上げ保管



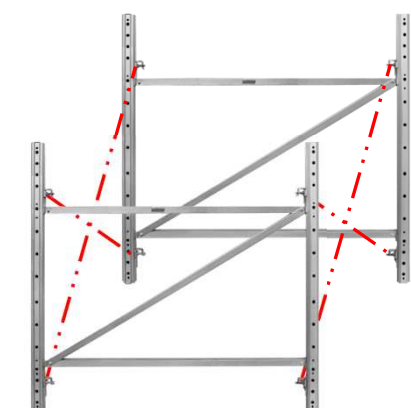
② 支保工部組立

上段ユニット



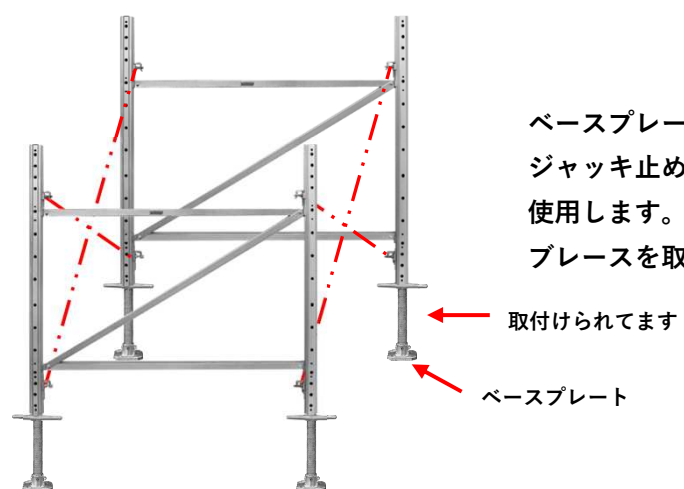
大引受け付のスクリージャッキがジャッキ止め金具で取付けられたフレームを使用します。
ブレースを取り付けて組立ています。

中間ユニット



スクリージャッキの付いていないフレームを使用します。
ブレースを取り付けて組立ています。

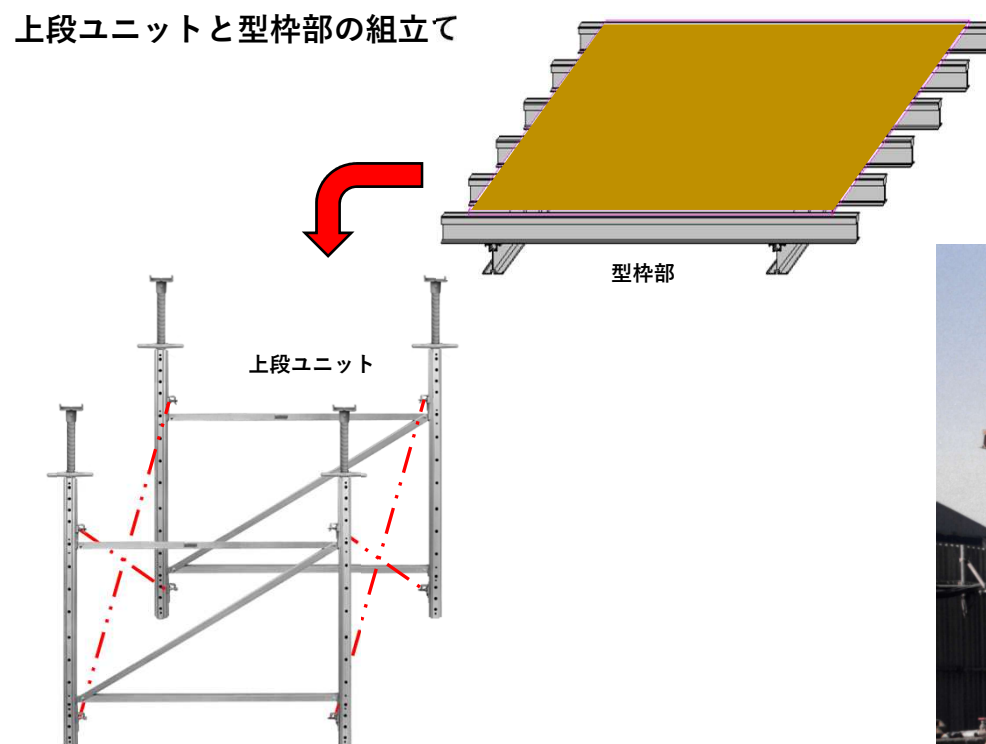
下段ユニット



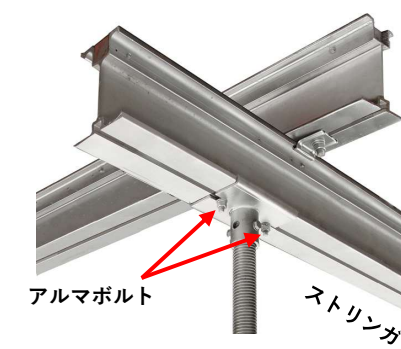
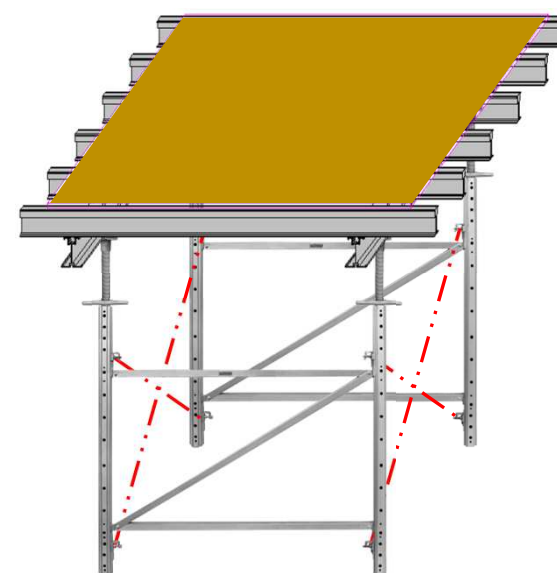
ベースプレート付のスクリージャッキがジャッキ止め金具で取付けられたフレームを使用します。
ブレースを取り付けて組立ています。

③ ユニットの組立

上段ユニットと型枠部の組立て



大引受けとストリンガーを
アルマボルト2本で固定

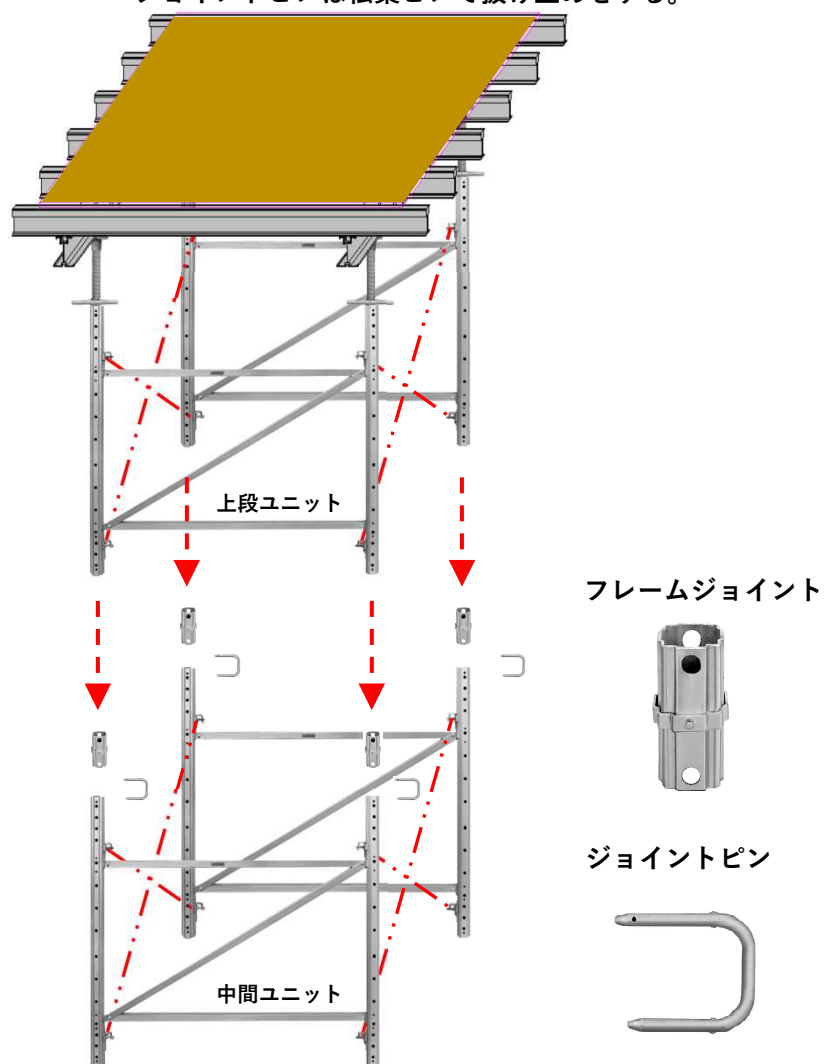


アルマボルト
M12 (スパン19)



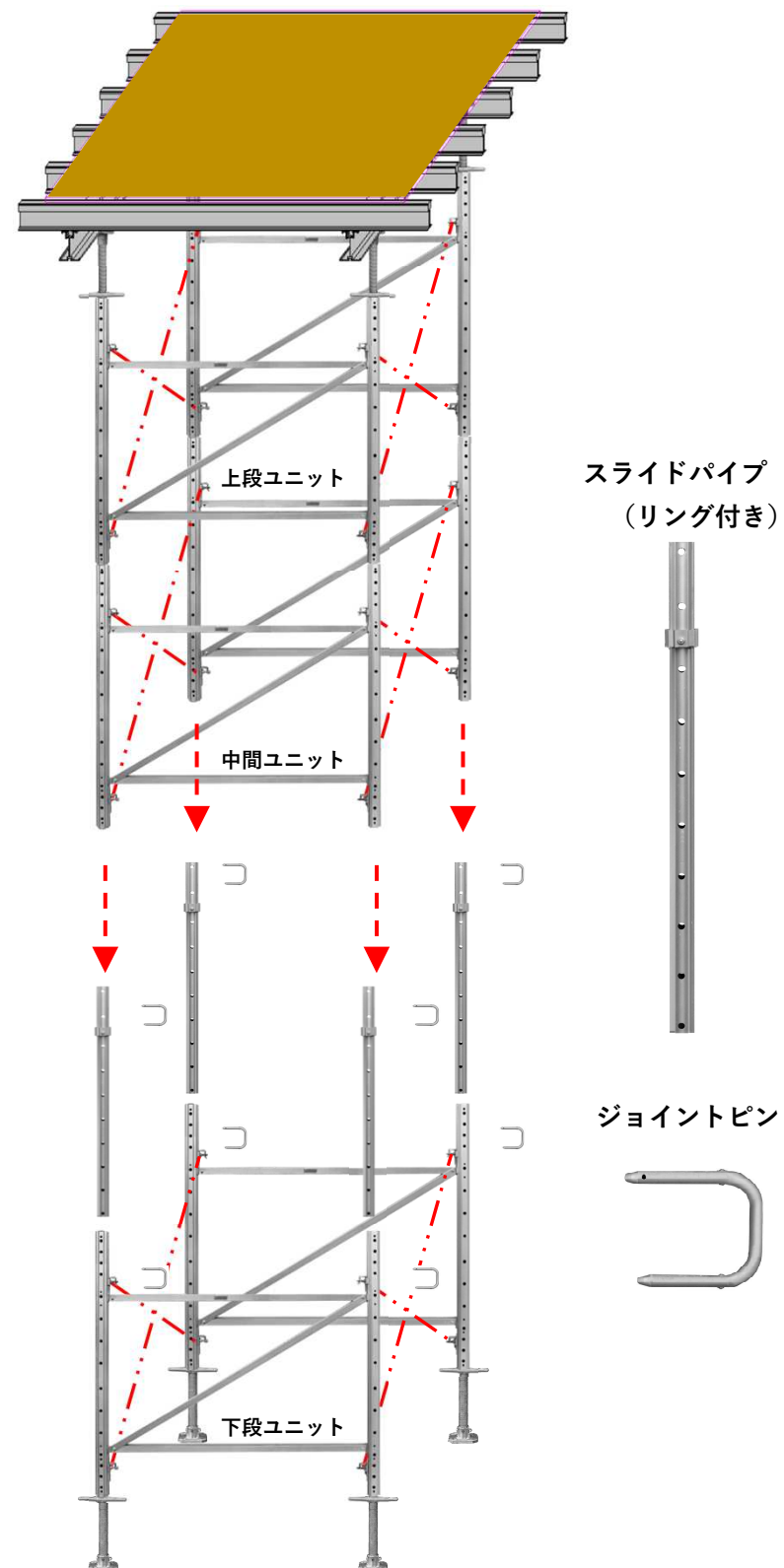
上段ユニットと中段ユニットの組立て

フレームジョイントを使い、中間ユニットと上部ユニットを組立てる。
 抜け止めにジョイントピンを差し込む。
 ジョイントピンは松葉ピンで抜け止めをする。



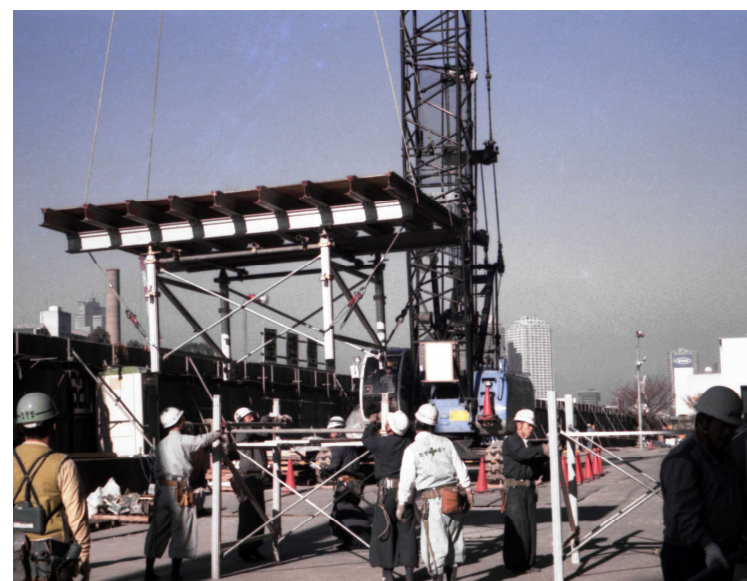
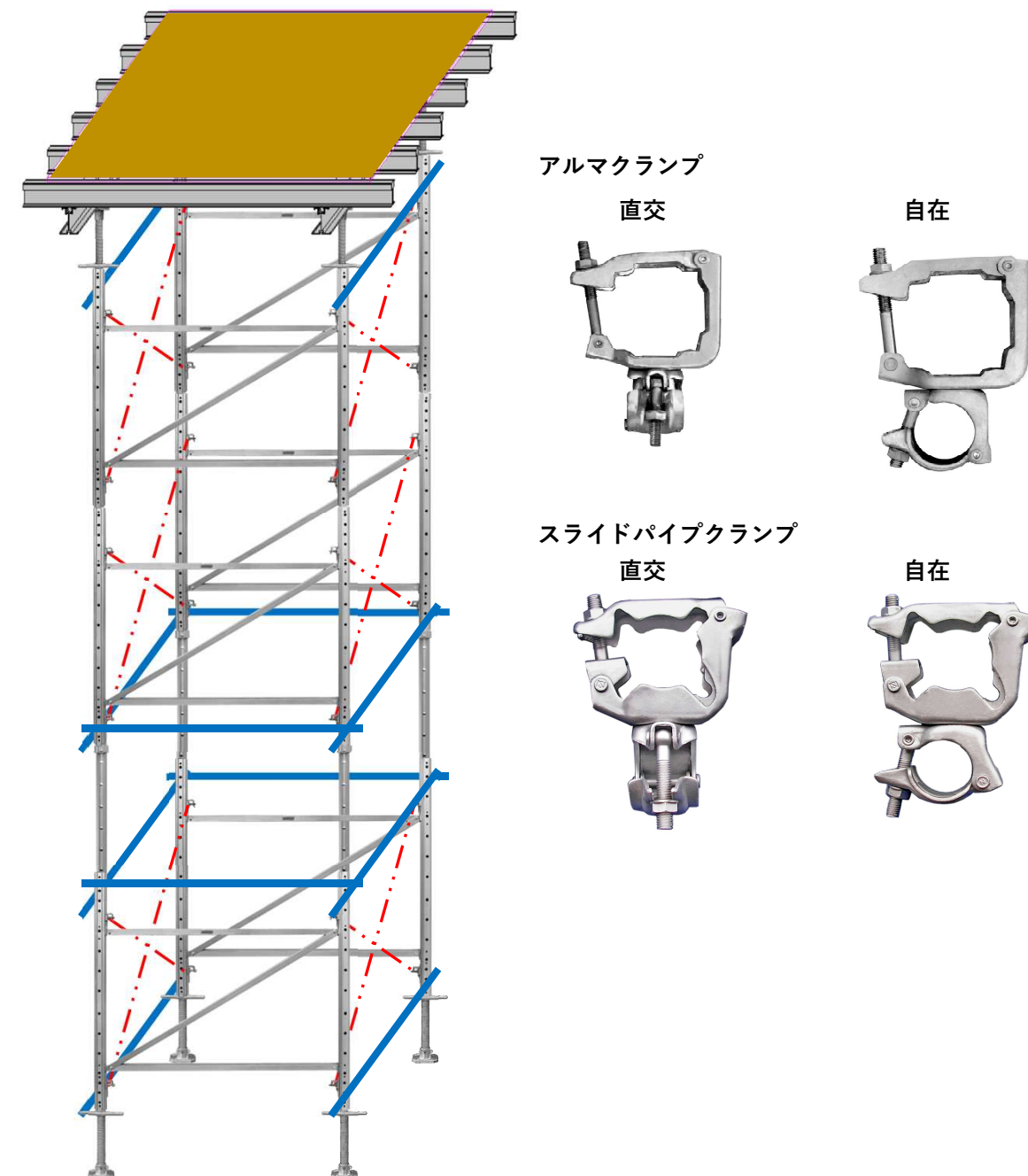
下段ユニットとの組立て

リング付きスライドパイプを使い、下段ユニットへ上部、中間ユニットを組合わせる。
 抜け止めにジョイントピンを差し込む。
 ジョイントピンは松葉ピンで抜け止めをする。



④ 単管パイプの取り付け

専用クランプを使い、単管パイプを取付ける。

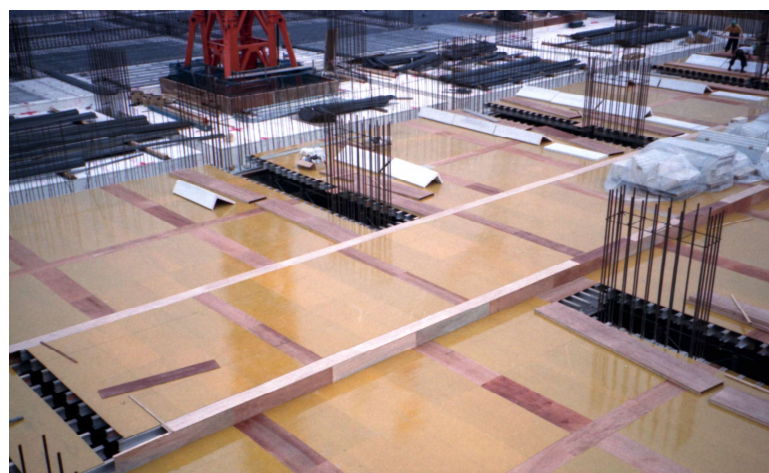
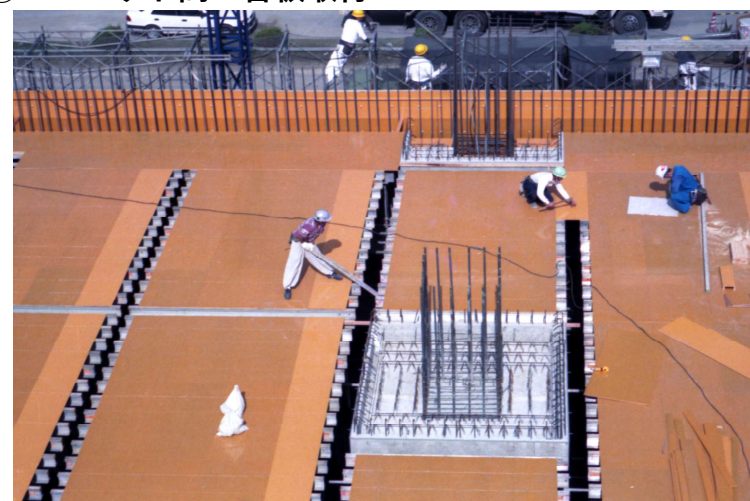


⑤ ユニットの配置

ユニットを吊り上げ、墨出し位置へ配置する。
レベルを調整する。



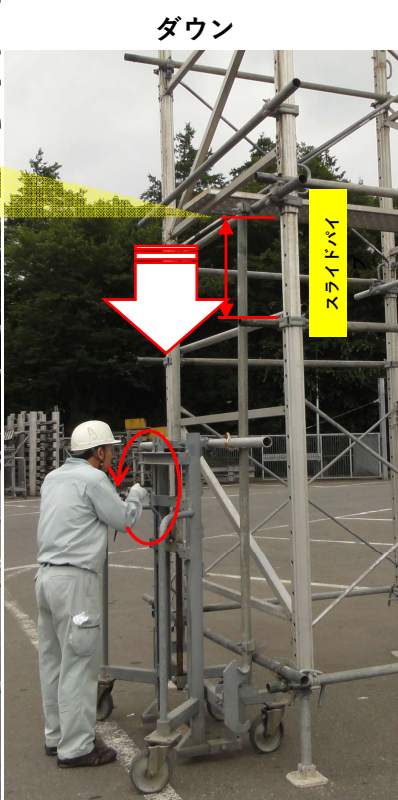
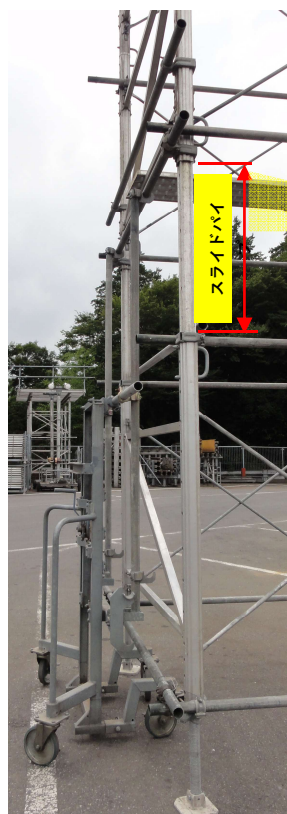
⑥ ユニット間の合板取付



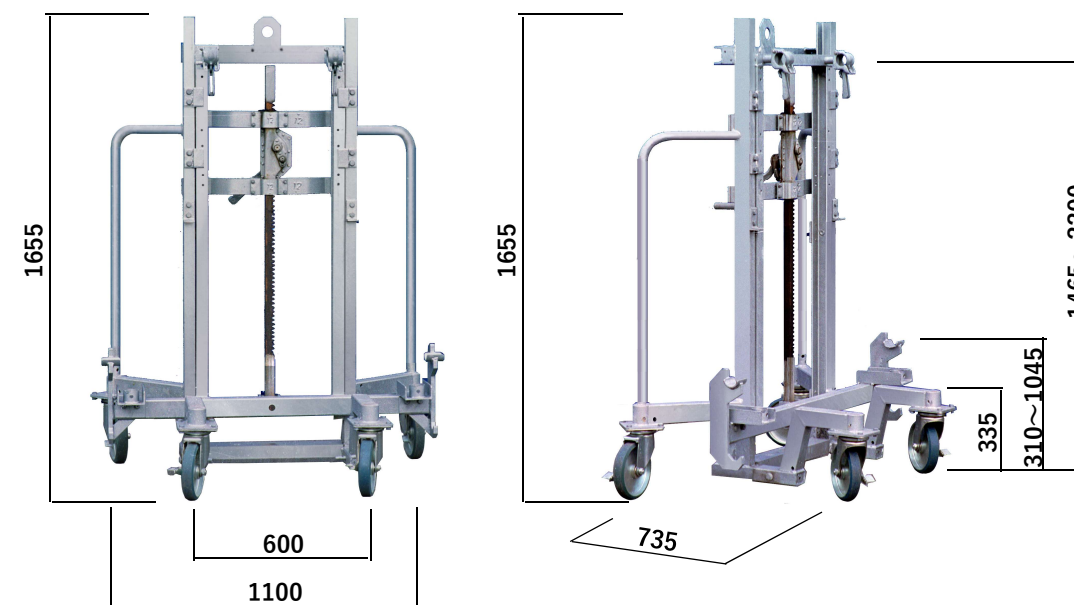
⑦ コンクリート打設後の転用

リフタードローリを使いユニットを下げ、吊り上げ場所へ移動する。

リフタードローリ



リフタードローリ LIFTER 156 kg



フライングジョアを下降させるには、下図のようにリフタードローリに単管パイプを組込み、先端にフッククランプを取付けます。

